

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、実施機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

研究課題名	ビッグデータを用いた小児外科の緊急手術の現況調査
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤 克人
研究責任者	金沢医科大学 小児外科学 田村 亮
研究期間	研究実施許可日 ～ 2028年 03 月 31 日
対象者	2024年に小児外科領域における緊急手術をされた症例
当該研究の意義・目的	本研究の目的は、小児外科領域における緊急手術の現況を、日本外科学会が所有する手術に関するビッグデータであるNational Clinical Database (NCD)を用いて可視化することである。
方法および研究で利用する試料・情報の取得方法	<p>A) 研究対象</p> <p>National Clinical Databaseに2024年における小児外科領域緊急手術として登録された全症例</p> <p>B) 方法</p> <p>上記症例に関するデータを取得したのち、下記の通り2つの検討を行う。</p> <p>B-1: 各地方および全国の年間緊急手術数および現況の検討</p> <p>B-2: 各地方および全国の小児外科診療機関（日本小児外科学会が定める認定施設および教育関連施設）における1施設あたりの緊急手術頻度の検討</p> <p>B-1: 下記の3つの点より年間緊急手術数の現況を分析する。</p> <p>a) 全国および各地方別に、小児外科診療機関1施設および小児外科専門医1人あたりの年間緊急手術数を算出する。これにより、各地方における緊急手術の集約状況、および専門医1人あたりの緊急手術数に関する労働量を推定する。本検討のため、全国の専門医の地理的分布の情報が必要であり、小児外科学会ホームページに一般向けデータとして提示されている専門医リストを使用する予定である。</p> <p>b) 日本小児外科学会が定める認定施設および教育関連施設1施設あたりの年間緊急手術数を算出する。認定施設と教育関連施設では規模や所属専門医数が異なり、施設種別の違いによる緊急手術数の差は、診療圏の構築などに有用と考えられる。</p> <p>c) 1施設における小児外科専門医数と年間緊急手術数の関係を算出する。良好なワークライフバランスの実現には一定数の小児外科医を1施設で確保することや、緊急手術に応じて適宜医師を派遣するシステムの構築が必要である。1施設における小児外科医数と緊急手術数の関係は、効率的な小児外科専門医の配置を検討するために有用と考えられる。</p> <p>B-2: 緊急手術頻度を分析する。1施設あたりの緊急手術頻度は下記の数式で算出を行う。 [1施設あたり緊急手術頻度(件/月) = 各施設における年間緊急手術件数/12]</p> <p>本指標が小さい程、緊急手術の頻度が低いことが示される。本指標を全調査対象施設で算出し、全国および各地方における平均値を求める。本指標から、全国および地方における小児外科緊急手術の頻度が可視化される。</p>

	<p>得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。</p> <p>この研究ではゲノム情報の取扱いはありません。</p>
利用又は提供する外部への試料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧及び研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で扱われる情報は個人の判別が出来ない為、個々の対象者へ研究結果をお知らせする事はありません。
間合せ先	<p>その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。</p> <p>金沢医科大学 小児外科学 田村 亮</p> <p>住所：石川県河北郡内灘町大学1-1</p> <p>☎：（代表）076-286-2211 内線（26537）</p>

作成日：2026年5月22日